

農産物の残留農薬検査結果(令和6年12月～令和7年2月)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁*は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和6年12月～令和7年2月に医療局食品専門監視班及び各区福祉保健センターが収去した国内産農産物の検査結果を報告します。

国内産農産物については、12月にかんしょ(さつまいも)及びさといも各3検体、にんじん2検体、トマト及びだいこんの根各1検体の計10検体、2月にさといも及びにんじん各3検体、かんしょ、だいこんの根、ばれいしょ及びほうれんそう各2検体、かぶの根1検体の計15検体、合計で25検体の検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。ほうれんそう1検体から1項目の農薬が検出されましたが、基準値を超えたものではありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

* 令和6年4月1日に、食品衛生基準行政は厚生労働省から消費者庁に移管されました。

表1 国内産農産物*の残留農薬検査結果 (令和6年12月～令和7年2月)

農産物	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
かぶの根	1	0			
かんしょ(さつまいも)	5	0			
さといも	6	0			
だいこんの根	3	0			
トマト	1	0			
にんじん	5	0			
ばれいしょ	2	0			
ほうれんそう	2	1	アセフェート	0.31	0.7

*検体 25 件中市内産 24 件、市外(茨城県)産かんしょ 1 件

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
BHC(α, β, γ 及び δ の和)	0.005	○	—	○	—	エトキサゾール	0.01	○	○	○	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和*)	0.005	○	○	○	○	エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	エポキシコナゾール	0.01	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	エンドスルファン(α 及び β の和)	0.005	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	—	エンドリン	0.005	○	—	—	—
アセフェート	0.01	○	○	○	○	オキサミル	0.01	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	カルバリル	0.01	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	—	カルプロパミド	0.01	○	○	○	○
アルドリン及びディルドリン	0.005	○	—	○	—	クミルロン	0.01	○	○	○	○
イソキサチオン	0.01	—	○	○	○	クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	クロチアニジン	0.01	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○

表2 (続き)農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	フェナリモル	0.01	○	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	フェノバルブ	0.01	○	○	○	○
クロルプロファム	0.01	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○
クロロクソン	0.01	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	フェンブプロパトリン	0.01	○	○	○	○
ジノテフラン	0.01	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	フルジオキシニル	0.01	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○
シペルメトリン	0.01	○	○	○	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○
ジメトエート	0.01	○	○	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○
シラフルオフェン	0.01	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	プロパホス	0.01	○	○	○	○
チアクロブリド	0.01	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○
チアトキサム	0.01	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	—	○	—
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	ベンコナゾール	0.01	○	○	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	ベンシクロン	0.01	○	○	○	○
トリコナゾール	0.01	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○
トリフルラリン	0.01	○	—	○	—	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	—
トリフロキシストロピン	0.01	○	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	ミクロブタニル	0.01	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	メタミドホス	0.01	—	○	○	—
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○
ビリダベン	0.01	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○
ビリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	メトラクロール	0.01	○	○	○	○
ビリミカーブ	0.01	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○
ビリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.005	○	○	○	—
ビリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	ルフェヌロン	0.01	○	○	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○
フィプロニル	0.002	○	○	○	○						

農産物の種類 A:トマト、にんじん、ほうれんそう B:かぶの根 C:かんしょ(さつまいも)、さといも、ばれいしょ
D:だいこんの根

○:実施、—:実施せず

* DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】